

図書だより

令和5(2023)年度3月号
天草高校倉岳校図書館



温かい日も少しずつ増え、桜も咲き始めました。3年生の先輩方が卒業し、寂しさ、そして新たな決意が、皆さんの心に芽生えて来ている頃ではないでしょうか。人は皆、出会いと別れを経て大きくなっていきます。この倉岳校で出会った人たち、物たちと今、縁を紡いでいっていますね。この春休み、静かにこれまでの歩みを振り返り、将来に夢を描く一歩をまた踏み出しましょう。

今、読んでみてはいかが? 気になった本、いくつか紹介します!



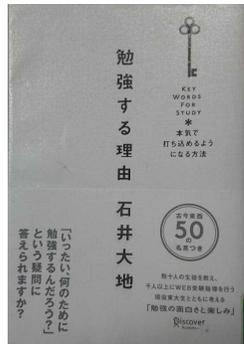
前に図書委員さんが薦めてくれた本で、日本各地の高校生が自分の夢を語っています。写真つきで、笑顔や真剣な表情がいっぱい! 刺激をもらいましょう。



7人の作家による傑作短編集、スクール編。他に恋愛編もあります。あなたの心に寄り添い、道を照らしてくれるでしょう。



御所浦の「恐竜の島博物館」、祝開館! 作家・村山由佳さんによる永遠のラブ・ファンタジー。優しい挿し絵も素敵。



誰でも一度は考える「勉強する理由」。著者は現役大学生。サブタイトルに「本気で打ち込めるようになる方法」とあるこの本。本音で語っており、読みやすいでしょう。古今東西の50の名言も紹介してありますよ。



あのテーマパークのスタッフ育成にあたった著者が知る、いくつかのエピソード。ハンカチ必須です。

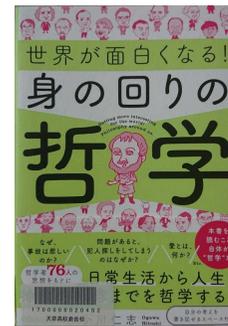


市役所の無料カウンセリングに訪れた人々を描く短編集。コロナ禍で様々なものを失った人たちの語る声、語らないこと。

今放映中の大河ドラマ「光る君へ」、見えますか? 元の作品『源氏物語』の内容を、週刊誌の体裁で記事のように取り上げてあり、興味深い! 他に、かわいいキャラクター「まろ」で描かれる『大撰 源氏物語 まろ、ん?』もおすすめ。



生活上の様々なことをキーワードにして、東西の哲学者の考え方を紹介。思想マップ付き。



ほんの少しの工夫で、あなたの気持ちがうまく伝わる! 具体的な方法がやさしく書かれています。

熊本出身の書道家、武田双雲さんの本で、筆文字がいっぱい! 小学校のはじめ頃に習った漢字の、双雲さんによる楷書、創作的な字と詩が見開き2ページに。漢字の話や筆の持ち方などについても語ってあります。



よく知っているお話を、左に日本語、右に英語で上げてあり、わかりやすいです。音読にも最適!



絵やコミックエピソードも満載のレシピ本。おいしそう!

帯にあるとおりの、爆笑「異文化交流」コミックエッセイ。私たちが気づきにくい日本の良さがまるわかり! 他のコミックエッセイに、『オーサが見つけた 北欧女子日本の不思議』もあります。



○この春休みは何冊読みましょうか。今借りると、返却期限は春休み明けで、じっくり読めますね。

休みの課題への取り組み以外に、ゆっくり自分の世界を広げる時間も持ちましょう。 新年度も図書館をよろしくお願いします!



ニール・ゲイマン(イギリスの作家)

本とは、あなたが手に抱える夢である。 A book is a dream that you hold in your hand.